

あらぐさ福祉会に『プーク』がやってきました！

2024年10月10日、たんぽぽ保育園のホールに『劇団プーク』が来て下さり、たんぽぽ保育園とつくしんぼ保育園の子どもたちが一緒に楽しみました。

『プーク』さんは、1929年の創立以来、すべての人々の平和と幸せのために、子どもから大人まで楽しめる人形劇を創り続けている劇団です。



『がんばれローラーくん』

ごろごろと、ローラーくんが道を直しています。スピードの速い自動車たちは、びゅんびゅん追い抜いていきますが・・・本当に大切なものは何かを、みんなの心をつなぐローラーくんが、ほのぼのと語りかけてくれるお話でした。



『プー吉・チビのオープニングショー』は音楽にのせてバラエティーあふれる人形劇！糸あやつりに、カップ人形・・・様々な人形たちが次々に登場。



テレビや動画とは違う、臨場感あるお人形の動きや演者の方の声！そして綺麗な照明に子どもたちは吸い込まれるように見入っていました。

最初はドキドキして緊張していた乳児さんも、次第に笑顔になり、上映後お人形とタッチする姿も！

子どもたちにとっては、これだけの近距離で生の観劇を見ることはなかなか無い経験だったと思います。

笑って、ドキドキして、一緒に歌って！子どもも大人も楽しい時間を過ごしました。



たんぽぽ新聞「食」特集号

2025年度号



～ たんぽぽ保育園の給食室が大切に思っていること～

こどもの食事に大切なことは、「これおいしいね」と気持ちを共有し合ったり、話をしながら大切な家族や仲間と共に食べること。「ひとりで食べるより、一緒に食べるとよりおいしい」と感じるのは、とっても素敵な経験です。たんぽぽ保育園では、毎日おへやの仲間と「用意はいいですか～？」「いちにのさんはいつ、いただきます！」とみんなであいさつをしてから食べています。

季節の野菜を取り入れた、たんぽぽ保育園独自の和食を中心とした献立は愛情たっぷり！仲間と共に食べることができる今を、たのしんで欲しいなと思っています。

栄養士：川口（ほっしー）

給食室から見える景色

給食室から園庭が見えます。たんぽぽ保育園の給食室は、玄関から入って廊下に沿ってカウンターと扉が、全面窓ガラスになっております。外でたくさん遊んでいる様子、散歩に出かける姿など、こどもたちの様子を見ながら給食を作っています。



かんぱーい！



「きょうのごはんはなに～？」と毎日聞きに来るこどもたち。「今日はお肉だよ～」と言うと「やった～！」と言って散歩に出かけます。毎日、こどもたちと会話が出来ることを給食先生たちは楽しんでます。



食器にもこだわっています。温かい料理を温かく感じてほしい、器も大切に扱って欲しいと願い、0才児から陶器の食器を使っています。定期的に手の大きさを測り、お箸も手の大きさに合わせた長さのものを用意しています。



『園庭にベジハウス』

歴代の卒園生保護者の方たちから、「卒園記念品購入のため積み立ててきたお金を、そろそろ形にしたい」との申し出があり、どんなものがいいか話し合ってきました。子どもたちが「遊びたい！」と思ったとき、「自ら考え遊びが豊かになる環境を！」と色々考え、その結果、たどり着いたのがベジハウスです。本来は、お野菜などをつくる場所らしいのですが、子どもたちがおままごとをするにはベンチもありちょうどいいサイズです。年長さんを中心に落成式を行いました。式が終わると、早速ベジハウスで遊び始めた子どもたちです・・・まだイメージがわからなかったのか？フェンスによじ登ってみたり、ベンチに座ってみるといった感じの子どもたちでした。



たんぽぽのこどもたち

毎年育てているお野菜、今回も「畑で何を育てたい？」という話を子ども達としました。その話の中で、がらさん達から「ポップコーンを食べながら映画を観たい！」という提案が出て、畑でポップコーンを育てる事になりました。収穫の時期になり、「映画ってどうする？」の話し合いしたところ「自分たちで劇をやる」と決めたがらさん。みんなで準備や練習など頑張ってきました！当日は、毎年畑を貸してくださっている方（畑の先生）も招待して皆で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

Popcorn 収穫



みんなで育てたポップコーンを収穫し、1ヶ月乾燥させてから粒を1つずつ取りました。2階の廊下に吊るして干したポップコーンを眺めては、「早く食べたーい」と言っていた子ども達です。



／がんばるぞー！！／

映画館 OPEN



冒険隊と白雪姫とカニとゴジラと海賊と魔女が登場する劇です。ジャングルで迷子になった白雪姫は魔女と海賊に囚われてしまいます。冒険隊とカニが力を合わせて白雪姫を助け出します。



がらさん劇の後は、がらさんが楽しむ番！ということで、かぶ&あおむしさんがステージを披露してくれました。「アナ雪」「カエルのうた」「ウルトラマン」・・・ちょっとドキドキ、ワクワクしながら前に出て歌ってくれました。とってもかわいいみんな、そしてとっても楽しい時間でした♪

かんぱ〜い



畑の先生も来てくださり、みんなとポップコーンを食べながら劇を鑑賞してくれました！あおむしさんとかぶさんとポップコーンを乾杯して楽しそうに食べていましたよ〜。劇を観て、「とても面白かったです。」と言ってもらい嬉しそうながらさん達でした。



第6号

ハレーハレー

新聞

2025年7月

福) 静岡あらぐさ福祉会
つくしんぼ保育園



開園から10年が経ち、時の流れを感じると同時につくしんぼの歴史も保育も絆もますます深まっていることを実感しています！子ども同士も、子どもと大人も、大人同士も、日々“今”に全力に向き合って毎日を楽しく奮闘しながら過ごしています🥰！

3才児そらまめさんが『じゃがいもほり』に行ってきました～！

元たんぼ保育園の保護者の滝下さんがぜひ！そらまめさんに！と声をかけて下さって、“そらまめさんだけで”じゃがいもほりに行ってきました！初めてのそらまめさんだけで行く園外保育・・・“大丈夫かな・・・？”という大人の心配とは打って変わってやる気満々のそらまめさんたち🥰！
うちのみんな（クラスのみんな）に「たくさん掘ってきてね！」「頑張ってきてね！」「お土産頼んだよ！」と声をかけられ、さらにやる気が増したそらまめさんたちは「うんっ！」「頑張ろうぜ！」といっちょ前に返事をしていましたよ～🥰
うちのみんなに頼りにされた嬉しさも相まって、畑に向かって歩くそらまめさんたちの姿はいつもよりもどこかたくましく見えたのでした🥰🌟



なかなかみえてこないじゃがいも・・・でも頑張って掘ってじゃがいもの姿がチラッと見えてくると、「あった！！」と嬉しそうに、そして真剣に掘っていくのでした🥰🌟

なんか見たことない色・・・不思議そうにじーっ👁️『シャドークイーン』という品種だそう💡



「虫いたっ！」・・・と生き物との遭遇も！！土を触るっているんな発見や経験もあっていいなあ～🥰🌟

Mくんの分もほってきたよ！



見つけた～っ！！
大きいのも小さいのも
たくさんっ！！🌟

掘ってきたじゃがいもが・・・おやつ『あおりのポテト』に～！！

掘ってきたじゃがいもはそらまめさんたちからのお土産で他の子たちにも1個ずつプレゼントしました♡でも、それでもまだまだたくさんあるじゃがいも・・・「どうしようか？」と給食先生とそらまめさんと相談して、みんなの大好きな『あおりのポテト』としてみんなのおやつにしようことにしました🥰！



当日は給食先生から“じゃがいもを洗う”お仕事も任されたそらまめさん！🌟おやつでポテトになって出てきた時にはそらまめさんたち含め、他の子たちもとってもいい表情で嬉しそうに食べていましたよ～🥰♡



完成～っ！！🌟



実践記録

つくしんぼでは給食室も子どもたちと日常的に繋がりながら、食べることの楽しさ・大切さを伝えることを目指しています。「リクエスト」の取り組みは給食やおやつを楽しみにしてほしいという思いで3年前から始めました。

給食室 栄養士 高田美希（4年目）の実践です。

第57回
全国保育団体
合同研究集会
で提案予定

"好きなもの"を大切に、食に向かう気持ちも前向きに

友達思いでいつでも優しいH（5歳児）。だけど食べられないものが多いから給食の時間はちょっと苦手…。3歳児の頃は給食の時間食べられるものがなくなると、机の下にもぐりこんでしまっていました。4歳児になり食事には向かえるようになりましたが、食べ始めてからごちそうさまをするまでが早く、食べることを楽しめているかな？と疑問が残る、Hの食に対する気持ちが前向きになっていくといいなと思っていました。

5月12日 初めてのリクエスト ～まぐろのノルウェー風～

お散歩から帰ってきた際に、担任と一緒に給食室に来たH。

担任保の声で窓の外から名前を呼ばれる。

高田「はい」「あ、H。どうしたの？」給食室の外に出てHと話す。

H&担任保「お魚とつるつるのやつ、また作って～」小さな声だったが自分の口で言っていた。2日前の給食で出た、「まぐろのノルウェー風」をまた作ってほしいというリクエストだった。Hの初めてのリクエスト！

高田「Hあれ好きだった？また作るね～」



Hリクエストの
まぐろのノルウェー風！



牛乳入れる
お手伝いもするよ！

12月1日 3回もおかわり！ ～なんちゃってアメリカンドック～

おやつ後、Hが給食室に来る。給食室の中が見える網戸の前に立って給食室の中をじっと見ている。一緒に来た担任保は少し後ろから見守っている。

高田「Hどうしたー？」と聞くと

H「〇×△※・・・」網戸越しには聞こえないくらい小さな声。

網戸を開け、「なにになに？」ともう一度聞くと

すごく小さな声で、H「1月に今日のまたやって…」

高田「1月にリクエスト？今日のどれ？」

H「なんちゃってアメリカンドック」少し大きな声になった。

高田「おやつアメリカンドックね！Hリクエスト？」 Hは大きく頷く。

高田「12月はもう決まっちゃってるから1月ってことね」H「そう」

担任保「Hめっちゃおかわりしたんだよね。何回したんだっけ？」

手で3のポーズをするH。

高田「おおー3回もおかわりしたんだ、好きなもの増えたね！」

うん。と笑顔でうなづくH。これまで「納豆ご飯」と「まぐろのノルウェー風」のリクエストを繰り返していたH。他のメニューのリクエストは初めてだった。

1月15日 Hの“好きなメニュー”

～きなこトースト、まぐろのノルウェー風、まぐろの竜田揚げ、納豆ご飯～

H・S「おやつくださーい」HとSが給食室におやつを取りに来た。

高田「はい」 H「きなこトーストは？」

高田「きなこトースト？ あー！きなこトーストは、また今度！」

3日前にHからきなこトーストのリクエストを受けていた。

H「あとまぐろのノルウェー風も食べたい」

高田「おーノルウェー風ね！Hリクエスト？」

H「そう。まぐろの竜田揚げも！」

高田「あ！まぐろの竜田揚げ、Sがまた食べたいってお昼にリクエストしてくれたんだよね。

じゃあ2人のリクエスト？」HとSは笑顔でうん！と頷く。

Hは歩きながら振り返り、「あと納豆ご飯もリクエスト！！」と言って部屋へ向かっていった。



給食楽しい！
みんなでピース

担任の原川保育士から、「Hくん、献立表をよくチェックして、自分のリクエストだけでなく他の子のリクエストも覚えていきます。食べられないものを返すときも、「少しは食べてみた」「これは2回おかわりした」など、発する言葉もポジティブになってきました。」と話を聞きました。

この実践を通し、苦手なものをなくす（＝短所を克服する）ことよりも好きなものを増やす（＝長所を伸ばす）ことに着目することで食に対しての楽しさを感じられたり、食べられるものがあるという自信が支えになることも実感しました。

デイサービス福寿草

〒422-8005

駿河区池田667-1

Tel/fax

054-208-0103

デイサービス福寿草は、たんぽぽ保育園、つくしんぼ保育園と同じ社会福祉法人静岡あらぐさ福祉会が経営する、定員10名のデイサービスです。介護保険を利用して、高齢者の通いのサービスが受けられます

ご飯が
おいしい！

会話が
楽しい！

ベッドで
休める

つかまって
自立歩行

皆で
体力づくり

ゲームが
充実！

言葉
計算

折り紙
制作

入浴



福寿草に集う方々は、67歳～97歳。昭和初めに生を受け、戦争の混乱期を生き抜いてきた方も多いです。
満州から逃げるときに、何日も歩いて港についた。引き上げ船が荒波にもまれ、怖い思いをした。体中にシラミがついて、ぼろぼろの服で静岡にたどり着いた。



現在の笑顔からは想像もつかないような苦難を乗り越え、仕方のない後悔も胸に秘め、毎日感謝して生活していらっやいます。

7月の七夕短冊は、一番多い「健康でいられますように」とほぼ同数で、「世界平和」

「世界のもめごとを決めるのに、戦争をするのはやめてほしい」との願いが、何人もの方によって書かれていました。

星に願いが届きますように。



困難を乗り越えた皆様の、今日が幸せでありますように。
私どもも精いっぱいご支援します。

